社会資本総合整備計画直川地区都市再生整備計画

平成24年 3月19日

和歌山県和歌山市

都市再生整備計画(第4回変更)

のうがわ ち く 直川地区

和歌山県 和歌山市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	和歌山県	市町村名	和歌山市	地区名	直川(のうがわ)地区			面積	280 ha
計画期間	平成 19	年度 ~	平成 23	年度	交付期間	平成	19 年度 ~ 平成	23	年度

目標

- ○「いつでも、だれでも、気軽に、安心して」利用できる交流・活動・健康拠点
- 目標1:地域住民の世代間交流の促進
- 目標2:地域住民の健康推進活動の促進
- 目標3:災害に強い防災機能の促進

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

計画区域は、市内北東部直川地区周辺にあり、東西は阪和自動車道東側付近とJR阪和線との間に、南北は紀の川堤防とJR阪和線との間に挟まれた所に位置している。

·人口 7,840人。

・計画地の経緯及び状況

計画区域内には昭和57年度から企業誘致用地として用地買収に着手し、集約作業を経て面積約11万8千㎡の土地を和歌山市土地開発公社が未利用地として保有している。

過去幾度も活用計画が検討されたものの、いずれも実現には至らなかったが、今回、地域拠点として利用計画を策定し、事業着手することとなった。その要因として、土地開発公社経営健全化対策の改定、紀の川大堰建設事業の治水効果及び、国・県 による総合内水対策、北インターチェンジ構想、及び公共施設の必要性があげられる。

公共的施設区画については、平成18年度から進入路部分の道路を整備するとともに、公共的施設区画全体に関わる整備基本計画を作成している。

・地域のニーズ

現在社会において、市民ひとりひとりが個々の能力を生涯にわたって高めていく必要性が増大しているが、和歌山市北東部には、地域交流センターなどの地域住民の拠点となる大きな公共施設がなく、保健センターについても設置されていないため、 住民が非常に不便な状態となっており、「地域交流センター」、「保健センター」等の地域拠点の設置、災害に強い防災機能の充実、また、周辺整備として都市計画道路西脇山口線や阪和自動車道北インターチェンジ等の交通環境の整備促進等の強い 要望がある。

課題

・複合施設(地域交流センター機能・保健センター機能・図書室機能)

当該地域には、住民の地域活動、地域保健向上及び学習の拠点施設が設置されておらず、住民からの設置要望も寄せられており、設置する必要性が高い地域である。

市民の福祉向上に寄与するとともに、緑豊かで快適な生活環境が享受できる、生活に密着した公園を設置する必要がある。

- 防災機能

大規模災害等が発生した際の「避難場所」及び「医療救護所」として、防災機能を具備する。

・阪和自動車道北インターチェンジ

- 和歌山市にはインターチェンジが1箇所しかなく、交通集中による渋滞を招いており、高速道路への利便性向上からも、また、広域的な物流や都市間の交流連携を支援し、周辺地域の位置的価値の向上及び地域の活性化の観点からも、当該地域に追 加インターチェンジを設置する必要がある。

·都市計画道路西脇山口線

地域間を連絡し、当該地域拠点の受益を当地のみならず和歌山市北部、北東部の広い範囲で享受すべく、道路交通網を整備する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

・緑豊かな居住地、山林、田園が調和したゾーン

和歌山市の都市計画マスタープランでは、北東部の将来像は緑豊かな居住地、山林、田園が調和したゾーンと考え遊休地を活用した新規都市機能空間の計画的整備の誘導を位置付けている。

目標を定量化する指標

+ ₽ +=		스 포	日神に比博なび日神はの即演性	沙兰店		口無法	目標年度	
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値		
1.地域交流センター利用人数	人/年	地域交流センターで開催する各種教室の延受講者数	地域住民の活動拠点としての役割を評価すべく、周辺地域の地域活動者数を 指標とする。目標値は延べ6,000人/年とする。	5,600	H18	6,000	H23	
2.保健センター利用者の距離の短縮 による利便性向上 km		周辺の人口割合と各地区から保健センターまでの距離の乗数の和	地域住民の健康管理拠点としての役割を評価すべく、利用者の保健センターまでの距離の短縮による利便性の向上を指標とする。	6.4	H18	2.2	H23	
3.当該区域内の避難場所及び医療救 護所数	箇所	当該区域内の避難場所及び医療救護所数	災害時地域住民の安全を確保すべく、避難場所及び医療救護所を整備する	1	H18	3	H23	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1(地域拠点づくり 地域交流センター・図書室) この地域に、地域住民の活動を支援する地域拠点となる地域交流センター等公共施設を設置する。 (1)直川用地(遊休地)の一部(2. 1ha)を公共的施設用地として土地開発公社から取得する。 (2)地域住民の生涯学習及び地域活動拠点として地域交流センターを建設する。 (3)地域住民の教育文化向上の学習拠点として、地域交流センター内に図書室を設置する。	道路(市道新設:市道直川地内線(仮称)1 L=346m) 地域生活基盤施設(緑地:面積562.82㎡、駐車場:1,159.30㎡) 高次都市施設(地域交流センター:敷地面積5,180.35㎡、床面積1,701.54㎡) 公園(直川公園(仮称) 4,785.67㎡) 地域創造支援事業(避難路:市道垂井北千手線L=96.0m) 地域生活基盤施設(地域防災施設(図書室):敷地面積1,104.00㎡、床面積341.48㎡)
整備方針2(地域拠点づくり 保健センター) この地域に、地域住民の健康管理を支援する地域拠点となる保健センターを設置する。 (1)直川用地(遊休地)の一部(2. 1ha)を公共的施設用地として土地開発公社から取得する。 (2)地域住民の健康相談、保健指導及び健康診査等地域住民の健康管理を支援する保健センターを建設する。	地域生活基盤施設(地域防災施設(保健センター):敷地面積2,208.02㎡、床面積738.52㎡)
整備方針3(災害に強いシステムづくり) 大規模災害等が発生した際の「避難場所」及び「医療救護所」としての防災機能を具備する。 (1)市道改良。	道路(市道新設:市道直川地内線(仮称)1 L=346m)
(2)地域防災計画に地区防災拠点及び医療救護所として位置付ける予定の地域交流センター、図書室及び保健センターを設置する。	公園(直川公園(仮称) 4,785.67㎡)
(3)地域防災計画に屋外避難場所として位置付ける予定の公園を整備する。	地域生活基盤施設(緑地:面積562.82㎡、駐車場:1,159.30㎡)
	高次都市施設(地域交流センター:敷地面積5,180.35㎡、床面積1,701.54㎡)
	地域生活基盤施設(地域防災施設(保健センター):敷地面積2,208.02㎡、床面積738.52㎡)
	地域生活基盤施設(地域防災施設(図書室):敷地面積1,104.00㎡、床面積341.48㎡)
	地域創造支援事業(避難路:市道垂井北千手線L=96.0m)
 その他	

その他

●まちづくりへの住民参加について

まちづくり計画を進めていく場合には、計画の段階から行政と市民が一体となり進めていかなければならないと考え、住民及び市民の希望やアイデアが実現可能なものか、周辺地域との調和はどうか、他計画との整合・調整は可能か、コスト的にどうか ということなどを協議しつつ合意を形成し、実現可能なものとするため作業を進めてきた。

(1)住民との協議・意見聴取

和歌山市において、まちづくり計画素案を作成し、これを「たたき台」として、住民及び市民と協議するとともに、アンケート調査を行い、広く市民の意見及び要望を集めた。

(2)まちづくり計画

地元住民及び市民の意見を反映しつつ、まちづくり計画を作成した。

また、当該地域及び周辺地域から、まちづくり計画の整備促進について、平成17年9月14日に陳情書が提出された。

(3) 整備計画

公共的施設区画について実際に利用する地域住民とともに委員会を設置し、整備計画を具現化すべく検討している。その過程で、住民の施設活用に関する意見・要望を具体的に盛り込むべく、関係機関と協議調整を行っている。

●地域交流センター、図書室及び保健センターの活用

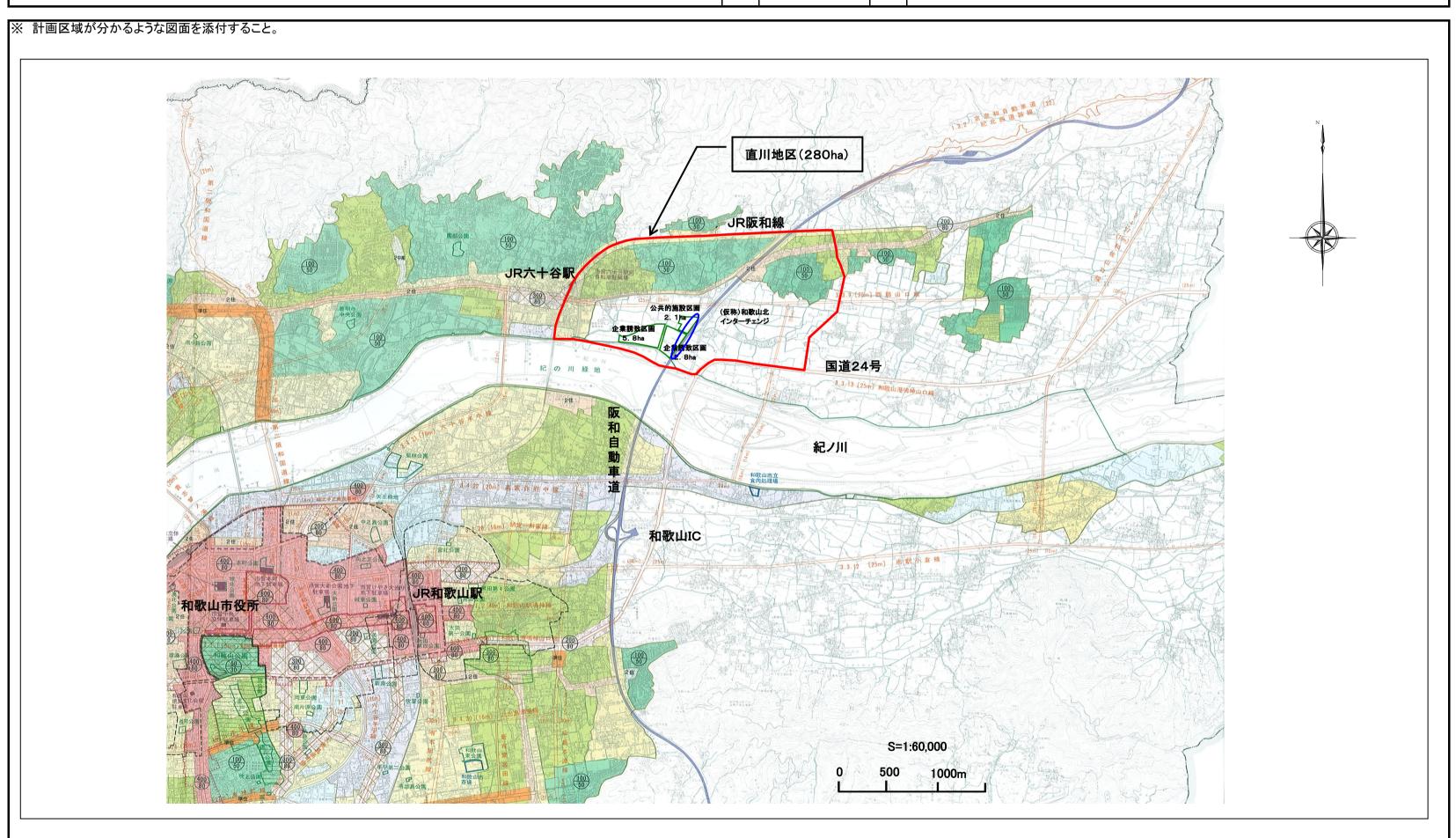
- (1)地域の自治会活動、読書・学習、子育てサークル、趣味教室(茶道・着付・琴等)、語学教室、料理教室など地域活動を行う。
- (2)各種教室及び相談(妊婦教室・赤ちゃん広場・乳幼児健康診査及びBCG予防接種・歯科健診・離乳食講習会・発達相談・思春期教室・ヘルスアップ教室・栄養教室・介護予防)を実施する。
- (3)防災啓発等を行う。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費		1,550 交付图	艮度額	685.0			国費率		0.442				(会療の光圧は下
<u>事</u> 業													(金額の単位は百
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考) 開始年度	事業期間 終了年度	交付期間 開始年度	内事業期間 終了年度	(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	交付 ² うち民負担分 事業
 道路	市道 新設	市道直川地内線(仮称)1 L=346m	和歌山市	直	W=12m	H20	H22	H20	H22	<u>デネ兵</u> 171.6	<u> </u>		
		直川公園(仮称)	和歌山市	直	4,785.67m ²	H20	H23	H20	H23	183.9	183.9	183.9	
古都及び緑地保全事業													
可川													
		_			_								
ュース 註車場有効利用システム		_			_								
也域生活基盤施設	 緑地	_	和歌山市	直	562.82m²	H20	H23	H20	H23	12.7	12.7	12.7	
也域生活基盤施設 地域生活基盤施設	駐車場	_	和歌山市	直	1,159.30m ²	H20	H23	H20	H23	31.6	31.6	31.6	
也域生活基盤施設		図書室	和歌山市	直	341.48m²	H20	H22	H20	H22	149.2	149.2	+	
地域生活基盤施設	地域防災施設	保健センター	和歌山市	直	738.52m²	H19	H22	H19	H22	304.1	304.1	304.1	
高質空間形成施設 高質空間形成施設		——————————————————————————————————————	THEXTENTS		-	1110	1122	1	1122	00 1.11	001.1	00 1.1	
高久本市施設 高次都市施設	地域交流センター		和歌山市	直	1,701.54m²	H19	H22	H19	H22	712.8	712.8	712.8	
既存建造物活用事業	心み入加しファ		1000000	<u> </u>	1,701.04111	1110	1122	1110	1122	712.0	712.0	712.0	
九行廷坦彻冶州事来 土地区画整理事業								1					
工心区画 <u>定</u> 理事来 市街地再開発事業													
中国地中州先事来 住宅街区整備事業													
压飞街区歪嘣争来 地区再開発事業								+					
心と丹用光争未 バリアフリー環境整備促進								+	<u> </u>				
	<u></u>												
優良建築物等整備事業 								-					
住宅市街地 総合整備 拠点開発型 沿道等整備	#u												
	生 114 あ (共 五)							1					
事業 密集住宅市													
耐震改修促	進型							1					
街なみ環境整備事業								1					
住宅地区改良事業等													
都心共同住宅供給事業								<u> </u>					
公営住宅等整備								1					
都市再生住宅等整備													
防災街区整備事業													
合計										1,566	1,566	1,566	0
事業			ī		1	(事業期間	一大八期間	内事業期間	(カル物門内		- 大 <i>八</i> -
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	<u> </u>	₱未朔间 終了年度	開始年度	內爭未期间 │ 終了年度	(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	交付 ² うち民負担分 事業
	中国・大日	避難路 市道垂井北千手線	和歌山市	直	L=96.0m	H19	H19	H19	H19	7.4	<u> </u>		
地域創造			18.37.										
支援事業								1					
事業活用調		_		1	_		1	1					
爭未况/7 ₪		_		1	_		1	1					
ー まちづくり活		_		1	_			1					
あら 2007 動推進事業					_			1					
合計				+				 	 	7	7	7	0
<u>ын</u> т										,	,	,	合計(A+B)
号)関連事業]
		事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模			いかに()		事業		全体事業費	
/ Im 16 \ 7 - 56 1 1						直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度		l
(仮称)和歌山北インターラ	トェンジ建設事業	市道直川49号線、50号線	和歌山市	国土交通省	L=517m		0	_	1	H19	H21	2,223	
街路事業		都市計画道路西脇山口線	和歌山県	国土交通省				1				1	
				1			ļ	_	1			ļ	
								1					
				_							_		
合計				1								2,223	

都市再生整備計画の区域

直川(のうがわ)地区 (和歌山県和歌山市) 面積 図域 和歌山市六十谷、直川、田屋、弘西、府中



直川(のうがわ)地区 (和歌山県和歌山市) 整備方針概要図

○「いつでも、だれでも、気軽に、安心して」利用できる交流・活動・健 康拠点

目標

目標1:地域住民の世代間交流の促進 目標2:地域住民の健康推進活動の促進

目標3:災害に強い防災機能の促進

(H23年度) (H18年度)→ 地域交流センター利用人数 (人/年) 5.600 6,000 代表的 保健センター利用者の距離 (H18年度) → (km) (H23年度) 6.4 2.2 な指標 の短縮による利便性向上 避難場所•医療救護所数 (H23年度) (箇所) (H18年度) → 3

